

科目コード	E3129c	科目名	指導案実践研究(保幼)				
履修区分	選択	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	金原 遼						
授業の概要	保育における生活やあそびを構想、指導案計画・立案し、指導案の具体的な書き方を学習する。それを踏まえ自ら立案した指導案をもとに、教材を開発し、あそびを開発するなどして、模擬保育を実践する。						
DPとの関連	平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける						
	人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける						
	修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける						
	教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける						
	社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力						
DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	幼児教育、保育における生活・あそびを構想し、指導案を計画・立案する基礎を習得する。自身の指導案をもとにして、模擬授業や模擬保育を行うことができる。						
履修上の注意事項							
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	指導案をつくるとは何か：目標・内容・方法・評価の一貫				これまでの講義内容について振り返るとともに、「よい」保育とは何かを思考する	
	2	保育の目標と子どもの生活				これまでの講義内容について振り返るとともに、現代の子どもを取り巻く「生活」とは何かを情報収集すること	
	3	教材研究を通じた内容・方法の先鋭化：絵本の教材研究				これまで扱ってきた教材を振り返り、別の方法での用い方を思考すること	
	4	教材研究を通じた内容・方法の先鋭化：室内/外遊びの教材研究				これまで扱ってきた教材を振り返り、別の方法での用い方を思考すること	
	5	教材研究を通じた内容・方法の先鋭化：教材づくり				被教育経験を振り返るとともに、身の回りの物をどのように教材化させるかを考えること	
	6	指導案作成と子ども理解：応答予想				子どもの発言や応答予想を深め、それに対する保育者の行為について考察すること	
	7	環境醸成と指導上の配慮事項				身の回りのものがどのように子どもに影響を与えているか考察すること	
	8	「評価」の設定と指導案の一貫性				授業内容を復習するとともに、どう評価するかの方法を思考すること	
	9	他者との協働による指導案の改善				講義で作成した指導案を踏まえ、より良い指導案にするための改善点を考えること	
	10	指導案作成実習				これまでの講義やその他の講義を振り返り、より良い指導案作成に向け準備を行うこと	
	11	指導案作成実習				これまでの講義やその他の講義を振り返り、より良い指導案作成に向け準備を行うこと	
	12	指導案作成実習				これまでの講義やその他の講義を振り返り、より良い指導案作成に向け準備を行うこと	
	13	指導案実践検討会				自己および他者の指導案検討を通じて、指導案の改善を図ること	
	14	指導案実践検討会				自己および他者の指導案検討を通じて、指導案の改善を図ること	
15	指導案実践検討会				自己および他者の指導案検討を通じて、指導案の改善を図ること		
成績評価方法	最終課題（指導案）：60% 指導案実践検討会：40%						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
参考書							
教員からのメッセージ	他講義で学習した内容や大学生活で学んだことを振り返りながら、「楽しい」授業/保育を考えましょう。						
教員との連絡方法	オフィスアワー等を利用して研究室を訪ねてください。						
実務経験のある教員							